

回覧



出雲郷小学校 学校だより

令和8年1月

文責：校長



ああ 出雲郷小は よいところ

本年もよろしくお願ひします

令和7年度の3学期が始まって約10日がたちました。本年もよろしくお願ひ申しあげます。

1月8日（木）には始業式を行いました。新年のあいさつ、「命」の話になぞらえて6日（火）の大きな地震のことについてや「十二支」「あだかえ力」「挑戦」の話をしました。以下のような話です。

始業式での話(概要)

新年のあいさつから始まり、最初に「命」の話をしました。6日の大きな地震の話をしました。2学期の終業式にも話したように「あだかえっ子のみんなが今、ここにいるだけで校長先生はうれしい。」と伝えました。

（自然災害のこわさやみんなでここにいることの喜びを話しました。）

私は地震発生当時、校長室にいました。もちろん、こわかったのですが、出雲郷小学校は耐震構造なのでそれでも、まだ安心できることをこどもたちに伝えました。これからも余震があると思いますが、耐震構造である学校はまだ安全だということを覚えておいてほしいと話しました。

そして、冬休みは「お手伝い」をしたか尋ねました。これも、終業式で私の方から「お手伝いをしよう。」と話していました。ほとんどの子が手を挙げてくれました。（本当にうれしい限りです）。家族の一員として、お手伝いをしたということがすばらしいなあと伝えました。

続いて十二支の午年の話をしました。

「十二支、言えますか？ちょっとつぶやいてみてください。」

「…」(ぶつぶつと声が)

「なんか、ぶつぶつ声が小さいなあ(笑)本当に言える？(笑)」

この午年は「力強くまっすぐしなやかに疾走する姿から、物事が順調に進み努力が実る年」という話をしました。そのためには、私がいつも言っている「あだかえ力」をつけることが大切だとつなげて話をしました。全ての面において、自分で意識してこの「あだかえ力」に取り組むことの大切さを話しました。さらに「挑戦」に合わせて、努力すれば実る話もしました。

最後に、今年は世界的なスポーツイベントがたくさんある年なので、しっかりと見て楽しみましょうと締めくくりました。



今年は世界的スポーツイベントがたくさん

- ・2月 冬季オリンピック(イタリアのミラノ・コルティナ)
- ・3月 WBC(ワールドベースボールクラシック)前大会優勝
- ・6・7月 ワールドカップサッカー(アメリカ・カナダ・メキシコ)
- ・9・10月 アジア大会(愛知県・名古屋市)

危機管理の話

始業式の話でもしたように、周知のとおり1月6日(火)に大きな地震が発生しています。常日頃、本校児童約500人の命をどう守るか、校内で議論を重ねています。その議論の中に、何かあった場合のお迎えの原則をお願いしておくとよいと話がまとまりました。今回のような地震の場合や大雨や大雪による場合など、保護者のお迎えをお願いする場合の手順をあらかじめ学校と保護者の皆様が共有しておくと、スムーズに引き渡しができるのではないかと思っています。本校の職員にも以下のような手順で引き渡しの話をしております。下のような手順でお迎えをお願いしたいと思います。(あくまでも原則です。屋内退避などの場合は違います。)

児童の引き渡し方法

※校庭の駐車場解放はしない。(一方通行にはできないので混雑が予想される。)

したがって、放課後児童クラブ前の駐車をお願いする。

- ① 児童は帰りの準備をして各教室待機 (担任は名簿でチェック)
- ② 保護者の方は、必ず職員玄関で受付 (名簿チェック) をお願いする。
- ③ 保護者の方は、職員玄関から直接教室までいってもらう (教室で引き渡しを行う)
- ④ 引き渡し後は、駐車場までお子さんと一緒に行く。

★お迎えが午後6時以降になる場合は、児童を1年1組に集めて管理を行います。

(以後、管理職で対応します。)

※迎えが午後6時以降になる場合 保護者の方は必ず事前に学校へ連絡するようにお願いします。

ALTが1月より着任しています

本校で勤務していたALTのルイス先生が12月末で母国に帰ることになりました。その代わりでウィリアム先生が1月より着任しています。15日からさっそく授業に入ってもらっています。主に5, 6年生の外国語を教えることになります。これからは、グローバル化の時代だと言われています。それは、人・モノ・資本・情報が国境を越えて地球規模で活発に交流・移動し、世界の一体化が進むようになるということです。今の学習指導要領は、3・4年生で外国語活動を、5・6年生で外国語を教えるようになりました。私も、教諭時代から外国語活動を教えていましたが、ALTさんとのコミュニケーションの中で、ヒアリングが少しできるようになりました。こどもの頃から学んでいくと外国語が少しでも話せるのではないかと思っています。また、外国語を学びたいこどもたちがたくさん出てくるのではないかと思います。12月まで勤務していたルイス先生は、4カ国語が話せるといっていました。学校はグローバルな社会の中で活躍していくこどもたちを育てていかなければなりません。

